

2024年3月15日

各位

セキ株式会社
代表取締役社長 関 宏孝
(STANDARD・コード 7857)
問合せ先
執行役員 経営管理本部長 吉川 浩司
TEL: 089-945-0111

株式会社フジシールインターナショナルとの資本業務提携に関するお知らせ

セキ株式会社（愛媛県松山市、代表取締役社長：関 宏孝）は、本日、株式会社フジシールインターナショナル（大阪府大阪市、取締役 代表執行役社長 CEO：岡崎 成子、株式会社フジシールインターナショナルを含むグループ会社を総称する場合は「フジシールグループ」という）との資本業務提携に下記のとおり合意しましたのでお知らせします。

記

1. 資本業務提携の経緯

当社は、中・長期経営計画「Next200」で定める重点経営課題において、持続的な成長の観点から、環境・社会課題の解決など「環境配慮型経営の推進」を最も重要な経営課題と考えております。特に、2017年10月に進出した「水性フレキソ印刷加工事業」は今後の成長分野と位置付け、投資を強化してまいりました。

その水性フレキソ印刷加工事業を更に普及させ、環境に配慮した循環型、持続可能な社会を実現していくため、飲料、食料品などのパッケージを手掛けるラベル業界トップのグローバル企業であるフジシールグループと水性フレキソ印刷での製造や共同開発などを進めてまいりました。具体的には、2019年1月より巻き付けラベルの製造、2022年7月にはシュリンクフィルムの製造を共同で開発しております。

これまで両者は資本関係を伴わない協業を進めてまいりましたが、この度、お互いの信頼関係を深めてより強固なパートナーシップを構築するとともに、相互の経営資源を更に有効活用することを通じて、両者の競争力強化と企業価値向上を目指すべく、新たに資本業務提携を行うことといたしました。

2. 資本業務提携に関する考え方

当社は、お客さまの課題解決のために常に時代の先を見据えた新しい価値を創造し、社会の変化とともに成長していくことを目指してまいりました。特に近年は、上述のとおり環境に配慮した印刷方式である水性フレキソ印刷加工事業への投資を強化し、その普及に努めております。

今回、資本業務提携を行うフジシールグループは、50年以上前からグローバル企業として世界の各地域の文化を織り込んだパッケージを提案するとともに、社会で注目される以前から「サステナビリティ」を大切に、環境に配慮した製品開発を進めております。

今回の資本業務提携により、両者の更なる競争力強化と企業価値向上に取り組んでいきます。

3. 資本業務提携内容について

(1) 業務提携内容について

①人と環境にやさしい環境配慮型パッケージの供給

環境に配慮した水性フレキソ印刷を使用した製品の更なる普及・拡大を進めるとともに、巻き付けラベル、シュリンクラベルの製造に加えて、ソフトパウチの製造に関しても、両者の連携を強化してまいります。

また、配送の最適化を図ることにより、輸送時のCO₂排出量の低減に努めてまいります。

②共同開発の推進

脱炭素や循環型社会・持続可能な社会の実現に貢献できるよう、環境価値と経済価値を両立した製品の共同開発を推進してまいります。

③安定供給体制の構築

社会生活に不可欠な製品を提供する企業として、両者連携によるBCP（Business Continuity Plan：事業継続計画）体制を整備し、安定供給責任を果たすとともに、より効率的な生産体制の構築を目指し、間接業務の軽減につながる生産計画や仕組みづくりを推進してまいります。

④人財育成・働き方改革の推進

両者が保有する仕組みやノウハウを共有し相互理解を深めることを通じて、企業価値の向上につながる人財育成の仕組みづくりや、労働環境改善など働き方の見直しを連携して推進してまいります。

(2) 株式の取得について

今回の資本業務提携にあたり、両者の信頼関係・パートナーシップをより一層強化し、本提携を戦略的かつ強力に推進していくために、以下のとおり相互の株式の取得を行います。但し、取得期間等については、両者間で協議の上、改めて定めることができるものとしております。

なお、当社は、持続的な成長と社会的価値、経済的価値を高めるため、業務提携、製品の安定調達など経営戦略の一環として、また、取引先及び地域社会との良好な関係を構築し、事業の円滑な推進を図るため必要と判断する企業の株式を保有しております。上記3.（1）の業務提携を進めるにあたり、両者が相互に株式を持ち合うことが、双方の企業価値に対する利害関係を強化し、本業務提携を推進する原動力になるものと判断しております。

	当社によるフジシールインター ナショナル株式の取得	フジシールインターナシヨ ナルによる当社株式の取得
取得する株式の種類	普通株式	
取得する株式の総数	100,000 株（上限） （発行済株式総数の 0.17%）	150,000 株（上限） （発行済株式総数の 3.33%）
取得方法	市場買付、または相対取引を通じた買付	
取得完了時期	2024 年 9 月 30 日（予定）	

4. 資本業務提携先の概要について（2023 年 9 月 30 日現在）

名称	株式会社フジシールインターナショナル	
本店の所在地	大阪市淀川区宮原 4 丁目 1 番 9 号	
代表者の役職・氏名	取締役 代表執行役社長 CEO 岡崎成子	
事業内容	持株会社として、フジシールグループ全体の経営戦略の策定・推進、 グループ経営の監査、その他経営管理など	
資本金	5,990 百万円	
設立年月日	1958 年（昭和 33 年）10 月 18 日	
従業員数	44 人（グループ連結従業員数 5,794 人）	
大株主及び所有株式数 の割合(%)	株式会社創包	14.7
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	11.3
	公益財団法人フジシール財団	8.8
	株式会社日本カストディ銀行（信託口）	6.5
	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001 （常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部）	4.2
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 （リテール信託口 820079255）	3.3
	藤尾弘子	3.3
	JP MORGAN CHASE BANK 385632 （常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部）	3.1
	BBH FOR UMB BK, NATL ASSOCIATION-GLOBAL ALPHA INTL SMALL CAP FUND LP （常任代理人 株式会社三菱 UFJ 銀行）	2.7
	RBC IST 15 PCT NON LENDING ACCOUNT-CLIENT ACCOUNT （常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店）	2.4

当社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	当該会社の連結子会社である株式会社フジシールと当社には、水性フレキソ印刷事業に関する営業上の取引があります。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

5. 最近3年間のフジシールグループの経営成績及び財政状態（連結）について

決算期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
純資産（百万円）	103,080	109,492	120,571
総資産（百万円）	159,367	164,646	180,004
1株当たり純資産（円）	1,869.58	1,999.85	2,201.40
売上高（百万円）	163,635	170,321	184,035
営業利益（百万円）	12,428	10,572	8,194
経常利益（百万円）	12,104	10,600	8,426
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	8,375	6,117	6,869
1株当たり当期純利益（円）	150.93	111.70	125.43
1株当たり配当金（円）	32	35	35

6. 日程

2024年3月15日 資本業務提携契約締結

2024年9月30日 株式取得完了予定日

7. 今後の見通し

本資本業務提携が当社業績に与える影響は軽微ではありますが、中長期的には両者の企業価値向上に大きく資するものと考えております。今後開示すべき事項が生じた場合は速やかに開示いたします。

以上